

12.6.24

**都サ連通信**

発行 東京都手話サークル連絡協議会  
 代表 高田 直樹  
<http://tosaren.web.fc2.com/index.html>  
[tosaren@syuwa.tv](mailto:tosaren@syuwa.tv)  
 FAX03-3961-2445

**自立支援センター運営委員会報告**

5月19日(土)、6月2日(土)10~12時

○センターだよりNo.42(5月号)発行

○第14回自立支援センターまつり

7月16日(海の日) バザー品のお願い、要員募集

第3回実行委員会5月22日(火)19時から

第4回実行委員会6月19日(火)19時から

7月17日休館日(清掃)

○ふれあいサロン 第2土曜日18時より

6月9日、7月はお休み(センターまつりのため)、

8月11日(オリンピック観戦予定)

○特別講演会

小海秀純氏(日程調整中) / 山岸信治氏(日程調整中)

○戦時体験のつどい

8月8日(水)昼部・夜部 赤坂区民センター

○次回 運営委員会は7月14日(土)10時から

以上です。

(文責 杉石)

**参政権保障委員会報告(2012/5/21,6/18)**

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を持っています。

立ち会い演説会についての勉強会

5月21日の参政権保障委員会では、市川明臣氏をお招きして、立  
 会演説会が始められた頃の様子をいろいろとお話していただきました。  
 まだ手話通訳といったものが、一般的では無い時代の手話通訳  
 の実態などを聞くことができ、非常に勉強になった。手話通訳と参政  
 権が切っても切れない関係にあるということを再認識させられた。

今後は、この勉強会の内容を踏まえて、講演会を企画する予定。

政党への、政見放送時の手話通訳および字幕付と要望

6月の委員会では、各政党に対して、政見放送時に手話通訳と  
 字幕をつけてもらうように要望書を提出する予定。参政権保障委員  
 会の名前ではなく東聴連の名前で要望書を提出することを再確認  
 した。

(事務局 三村)

**たましろの郷後援会役員会****施設から**

国分寺かたつむり作業所の移転検討中。決まり次第報  
 告予定。

施設で夕方、停電になった。水道も止まった。防災の  
 準備のための懐中電灯やランタン紙皿を使い夕食。

施設に発電機が必要ではと話が出た。

**事務局から**

2012年度会員数...個人:902名(新規28名)976口

団体:36団体 64口

募金箱...243個回収 ¥967,939(6月7日現在)

参照...2011年度6月会員数 個人:830名 899口

団体:31団体 57口

・昨年度と比べると会員数が多い。地域後援会頑張っ  
 ています。

**今後の予定**

・6月28日(木) 江東区サークル講演会 19時~

・7月28日(土) たましろの郷 夏まつり

・8月8日(水)手話で語る戦時体験

港区赤坂区民ホール 1,500円 チラシあり

**2011年度報告集会 意見・反省等**

【状況報告】参加者70人ぐらい。特に会員拡大につい  
 て意見が多数あった。地域後援会からも参考のために活  
 動を報告した。DVDについてもいろいろ意見が出た。活  
 発な意見交換ができとても良い報告集会だった。

・いろいろカンパする場が多い。後援会の理解を求めら  
 れるため説明するためにもDVD作成が急がれる。

・たましろフェスタのチケット代については実行委員会で  
 なく後援会の役員会場で決める。たましろフェスタ  
 は資金作りの意味もあるので安くなると難しい。

・パンフレットを前よりも解りやすく良いものを作り広くに配  
 布したい。

・組織部(部長田原氏と6つの地域後援会)がDVD、パン  
 フレットの作成を担当する。パンフレットについてはすく  
 にとりかかりたい。

・北野氏に撮影編集を以前お願いした。貴重な昔の映像  
 を持っている。それも使用した方が良い。

・予備費43万ができたので事務局のパソコン、DVD作成  
 費にあてたい。パンフは通信費の予算に入っている。

報告集会では奇譚のないご意見ありがとうございました。  
 今後ともご協力お願いいたします。

以上

(文責 西川)

## 福祉対策会議報告(6月)

- ・東聴連より評議員会・総会資料の配布。新防災パンダナと防災ハンドブック見本も受領。
- ・5月の地域担当者会議には、およそ30地域から約70名の参加者。今後、障害者総合支援法についてさらに学習を深めていく。
- ・中難協は、高岡理事長から新谷理事長に交代の報告。各関係団体からも、委員の交代報告。
- ・6/29(土)～7/1(日)第41回関東地区ろうあ者体育大会が開催予定。開会式の通訳は東通研に、試合の通訳は都サ連と各地域サークルに協力要請。
- ・埼玉県のろう学校寄宿舎を守るための署名活動を展開中。
- ・東京手話通訳等派遣センター高岡所長より、障害者総合支援法が及ぼす影響について。派遣制度の無い町村、地域格差、利用制限、要約筆記の広域派遣や按分方式の弊害などの問題点と、今後求めていくべき方向の示唆。
- ・対都交渉日程は、東聴連は未定、中難協は7月12日の予定。実効性のあるものを目指すべく、7月は情報交換との意識で臨む。国の指針が示された後に、あらためて交渉の場を設けたい。
- ・6月8日から第60回全国ろうあ者大会(京都)が開催される。かなりの参加者数の見込み。
- ・全日本ろうあ連盟評議員会で、手話研修センターの「後援会発足」が議題にあがる予定。また、京都と兵庫で情報提供施設の分室設置との情報があり、東京の参考になるかを調査する予定。

(文責 林)

## 甲谷 幸一氏を偲んで

港区手話サークル麦の会都サ連担当者として、長きに亘り皆様と共に活動をして参りました甲谷幸一氏が6月4日急性心不全のため享年49歳にて永眠致しました。

自分より若い人を見送るのは偲びなく、又 腹立たしい思いがフツフツと湧き上がって参ります。疲れていたのかな～、ストレスかな～と話しても詮ないことです。彼の冥福を心から祈るばかりです。

皆からは「かぶちゃん」と慕われ、サークルでは誰よりも人懐っこい笑顔で寄って来ては、誰かの為のサポートに努力を惜しまない人でした。皆様もご承知の通り、彼の活動の場は手話の世界に留まりませんでしたので、どれだけ麦の会が彼を頼りにしていた事か…要員に彼の名前があると安心できたものです。名実共に縁の下の力持ちとして麦の会を支えてくれました。これからは イベント、行事の開催毎に、彼の残してくれたマニュアルや軌跡をたどりながら、サークル活動を継続して参ります。

麦の会一同、故人の意思を引き続き、天国から見守ってくれている彼に褒めて貰えるようなサークルとして頑張る参ります。

合掌

港区手話サークル麦の会  
会長 松井 知津枝

## サークル訪問記(広報班)

### 手話サークルむさしの(夜)

6月1日(金)夜の三鷹駅近くの西久保コミュニティーセンターへ高田代表と二人で手話サークルむさしの(夜)を訪ねました。広い和室で参加者は30名内訳は男性11名、女性19名で年代も若い方から中年、高齢の方までバランス良くいらっしゃいます。午後7時から9時までの定例会の前半は昨年9月の岩手訪問時のビデオを見て頂きながら当時の被災地の様子を山崎から報告させて頂きました。会員の安否確認の作業で岩手の事務局長が痛感したと言う岩手県手連の必要性。更に東聴連から地域のろう協へ、都サ連から地域のサークルへ情報がそれぞれの立場で流れるのが自然ではないか？互いに議論し協働するためには、ろう協にろう運動に関する情報を全て依存してしまつたらサークルとろう協は対等の関係、車の両輪とは言えないのではないかと都サ連加盟継続の意義を訴えました。

後半は高田代表から福島への訪問の様子を報告してから、都サ連の歴史、組織、活動内容についての説明をさせて頂きました。質疑応答では「都サ連の活動が見えない、普段は何をしているのか?」「委員会に委員を派遣、事務局会議、代表者会議と会議ばかりしているのが都サ連なのか?」などの厳しい質問も出ました。福祉対策会議の内容などを具体的に説明する時間を準備すべきだったと反省しています。しかしその分、居酒屋に場所を移しての延長戦では本音ベースの会話で大いに盛り上がりました。「都サ連はたましろ以来、運動の方に偏り過ぎたのでは?」「サークル同士の情報交換交流と言うが実際に動きを感じない」等々 叱咤激励の渦の中、サークルから見た都サ連への不満等を聞かせて頂くことが出来ました。また「最近のサークルは運動離れが著しいので、むしろ運動の要になってくれているからこそ、都サ連としての意義がある」「個人では出来ない被災地の訪問や支援を代表してやってもらえて、そこにも都サ連の良さがある」など貴重なご意見も頂きました。その点は事務局会議でもきちんと報告したいと思います。そして暖かく迎えて下さった新妻会長をはじめとする会員の方々の恩に報いたいと思います。最後まで定例会場の中では、どなたが役員で先輩か、通訳の方はどなたか全く判りませんでした。そのくらい会員同士が和気あいあいとおしゃべりしている様子が印象的な、アットホームなサークルでした。以上

(文責 山崎)